「現代物理のキーワード」サンプルファイル

Keyword: スタイルファイル

1. はじめに

本スタイルファイル (newbutsuri.sty) は，日本物理学会誌における「解説」「最近の研究から」「最近のトピックス」「現代物理のキーワード」などの記事を執筆するためのものである．本稿において，原稿作成の注意およびスタイルファイルの使い方を解説する．なお，here.sty，graphicx.sty，color.sty，epic.sty，eepic.sty の各パッケージは標準で読み込まれているため，改めて usepackage 宣言をする必要はない．表 1 に命令一覧を，下記にコンパイルに必要なファイルを記す．

- image.pdf
- newbutsuri.sty

このスタイルファイルはあくまで刷り上がりの参考のためのファイルであり，このまま印刷されるのではなく印刷所にて組版を行うため，参考文献や脚注等，投稿規定通りに書式を指定できない場合があってもそのままで差し支えない．

2. 原稿作成要領

「現代物理のキーワード」欄（2 段組：刷上り 2 頁）は，物理学の現状を読み解くため，あるキーワードを中心として，周辺も含めた研究の動向を紹介する．他領域研究者や学部学生にも分かるよう平易な筆致で紹介する．国外の研究動向を紹介しても良い．著者自身の成果の発表の場ではない．著者名と所属は末尾に掲載する．

本スタイルファイルを用いた場合，2 頁以内厳守．刷上りページ数には本文のほか，図表を含める．

3. 図表について

図表は 1 頁 1 つ程度を原則とする．図や表は著者が用意し，説明文 (キャプション) はそれだけで内容がわかるようにつける．図は `\includegraphics` 命令で入れることを推奨する．たとえば，

```
\includegraphics[width=0.8\linewidth]{image.pdf}
```

とすれば，image.eps という名前のファイルを，本文の 80% の大きさで取り込むことができる．この例の結果を図 1 に示す．

色のみで情報を区別する図は，２色型色覚者や高齢者にとって，判別が難しい場合がある．閲読者や読者の中にも勿論いらっしゃるので，色のみでなく，実線・点線などの形状でも区別するなどのご配慮をお願いしたい．

表 1　本スタイルファイルを使った場合の命令対応表．このうち，`authorinfo` については人数分定義する．

内容	命令
タイトル	`\title{}`
Keyword	`\keyword{}`
著者情報	`\authorinfo{氏名}{所属}{e-mail}`

4. 原稿の閲読について

原稿は，このテーマを専門とはしない読者に読んでもらうことも想定して閲読が行われる．閲読者の意見も考慮して内容等の修正をお願いする場合があるので，あらかじめ了承されたい．

5. 寿限無

寿限無、寿限無五劫の擦り切れ海砂利水魚の水行末 雲来末 風来末食う寝る処に住む処やぶら小路の藪柑子パイポパイポ パイポのシューリンガンシューリンガンのグーリンダイグーリンダイのポンポコピーのポンポコナーの長久命の長助．寿限無、寿限無五劫の擦り切れ海砂利水魚の水行末 雲来末 風来末食う寝る処に住む処やぶら小路の藪柑子パイポパイポ パイポのシューリンガンシューリンガンのグーリンダイグーリンダイのポンポコピーのポンポコナーの長久命の長助．寿限無、寿限無五劫の擦り切れ海砂利水魚の水行末 雲来末 風来末食う寝る処に住む処やぶら小路の藪柑子パイポパイポ パイポのシューリンガンシューリンガンのグーリンダイグーリンダイのポンポコピーのポンポコナーの長久命の長助．寿限無、寿限無五劫の擦り切れ海砂利水魚の水行末 雲来末 風来末食う寝る処に住む処やぶら小路の藪柑子パイポパイポ パイポのシューリンガンシューリンガンのグーリンダイグーリンダイのポンポコピーのポンポコナーの長久命の長助．寿限無、寿限無五劫の擦り切れ海砂利水魚の水行末 雲来末 風来末食う寝る処に住む処やぶら小路の藪柑子パイポパイポ パイポのシューリンガンシューリンガンのグーリンダイグーリンダイのポンポコピーのポンポコナーの長久命の長助．寿限無、寿限無五劫の擦り切れ海砂利水魚の水行末 雲来末 風来末食う寝る処に住む処やぶら小路の藪柑子パイポパイポ パイポのシューリンガンシューリンガンのグーリンダイグーリンダイのポンポコピーのポンポコナーの長久命の長助．寿限無、寿限無五劫の擦り切れ海砂利水魚の水行末 雲来末 風来末食う寝る処に住む処やぶら小路の藪柑子パイポパイポ パイポのシュー

リンガンシューリンガンのグーリンダイグーリンダイのポンポコピーのポンポコナーの長久命の長助．寿限無、寿限無五劫の擦り切れ海砂利水魚の水行末 雲来末 風来末食う寝る処に住む処やぶら小路の藪柑子パイポパイポ パイポのシューリンガンシューリンガンのグーリンダイグーリンダイのポンポコピーのポンポコナーの長久命の長助.

6. 原稿作成上の注意

専門用語以外は原則として常用漢字・新仮名づかいを用いる．術語について，日本語として十分定着している術語はそれに従う．そうでないと思われるものはカッコ内に原語を付記する．専門分野にしか通用しない略語には必ず説明をつけること．また，単位については原則として SI 単位を用いる．

物理量を表す記号・変数・物理量や番号を表す添字などはイタリックとする．数式中で，演算記号［log, ln, sin, exp（e）, lim, d（微分）， Re, Im, Tr］・虚数単位［i, j］・元素記号・単位・言葉の意味を表す添字は立体にする．文中に分数の式を挿入する場合には，スラッシュ（/）を用いて a/b, $\exp(t/r)$ のような表記法を用いる．二重添字，e の肩にのる字の添字などは避ける．

7. 校正者のつぶやき

「できる」「こと」「よう」は仮名で書いてほしい．助動詞および助詞も，仮名のほうが望ましい（…ない，…ようだ，ぐらい，だけ，ほど）．付属語のように用いられるいわゆる補助動詞も仮名で書くべきである（…していく，…しておく，…してくる）．ちなみに,「…ていただく」「…ください」は公用文でも仮名とすることになっているはずである．数値と単位の間には，半角スペースを空けること．ただし，℃，% は例外.

8. 著作権

会誌に掲載された記事の著作権は日本物理学会に帰属する．転載等による記事の利用にあたっては，日本物理学会の承認を必要とする．ただし，別に定める基準を満たす場合には，その限りでない.

会誌に掲載された記事の全部または一部を他の出版物に転載し，翻訳し，あるいはその他の利用をしようとする者は，別に定める基準に従って日本物理学会の文書による承認を得，またその記事が会誌に掲載されたものであることを明記（出所明示）し、著作者の了解を得なければならない.

著作者が，会誌に掲載された記事の全部または一部を，改変することなく学術情報として著作者自身で利用する場合には，別に定める基準に従うものとする.

日本物理学会は，いかなる媒体や手段においても，著作物の全部または一部を公開する権利を有するものとする.

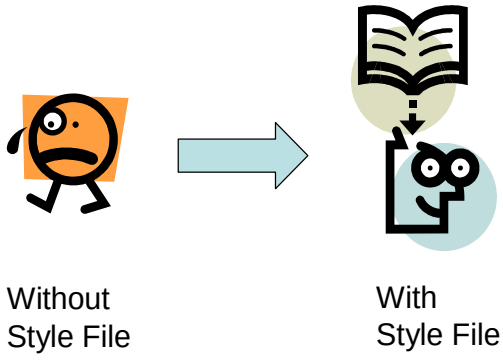

図 1　スタイルファイル使用のイメージ．スタイルファイルが存在しない場合 (左図) は仕事がなかなかはかどらず，非本質的なところで苦労するが，スタイルファイルがある場合 (右図) は，文章の構成といった解説の本質的部分に集中することができる.

9. 図面の転載

日本物理学会誌では他の文献から図面を転載する場合には，投稿規定に基づき，原著者および出版者より転載許可を求めることになっている．転載される図は，最初に掲載された文献を引用すること（孫引きは不可）.

従って，記事中で他の著者の図を転載する際には，原図の著者および出版者より転載の許可を得ること.

また，自身の論文から図面を転載する場合にも出版者から許可を受ける必要があるので，注意すること.

10. おわりに

仕事をする上で，ワープロソフトの仕様などの非本質的な事由で苦労することは避けたいものである．本スタイルファイルが原稿を書くための労を省くことで原稿執筆の障壁を下げ，ひいては日本物理学会誌がより多くの読者を集めることを願う.

参考文献

1) T. Butsuri and H. Butsuri, Phys. Rev. E **75**, 040102(R) (2007).
2) 物理太郎, 物理花子, 日本物理学会誌 **62**, 785 (2007).
3) T. Butsuri, H. Butsuri, and J. Butsuri, Phys. Rev. Lett. **82**, 080123 (2018).

物理太郎〈物理大学大学院理学研究科 tbutsuri@butsuri.ac.jp〉